

流動性カバレッジ比率及び安定調達比率の推移（2022年3月期）

【連結】

(単位：百万円、%)

KM1：主要な指標（銀行連結・持株）						
国際様式の 該当番号 (注)		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		当四半期	前四半期	前々四半期	ハの前四半期	ニの前四半期
連結流動性カバレッジ比率						
15	算入可能適格流動性資産の合計額	4,337,492	4,113,092	3,957,766	3,918,752	2,837,508
16	純資金流出額	2,903,639	2,754,979	2,647,863	2,569,921	2,054,690
17	連結流動性カバレッジ比率	149.3	149.2	149.4	152.4	138.0
連結安定調達比率						
18	利用可能安定調達額	8,023,229	7,858,357	7,611,312	-	-
19	所要安定調達額	5,897,715	5,955,889	5,863,987	-	-
20	連結安定調達比率	136.0	131.9	129.7	-	-

【単体】

(単位：百万円、%)

KM1：主要な指標（銀行単体）						
国際様式の 該当番号 (注)		イ	ロ	ハ	ニ	ホ
		当四半期	前四半期	前々四半期	ハの前四半期	ニの前四半期
単体流動性カバレッジ比率						
15	算入可能適格流動性資産の合計額	4,337,492	4,113,092	3,957,766	3,918,752	2,837,508
16	純資金流出額	2,885,657	2,739,465	2,627,733	2,547,443	2,035,980
17	単体流動性カバレッジ比率	150.3	150.1	150.6	153.8	139.3
単体安定調達比率						
18	利用可能安定調達額	8,032,647	7,867,350	7,621,118	-	-
19	所要安定調達額	5,795,489	5,852,021	5,751,213	-	-
20	単体安定調達比率	138.6	134.4	132.5	-	-

(注) 「国際様式の該当番号」とは、パーゼル銀行監督委員会により平成29年3月に公表された「開示要件（第3の柱）の統合及び強化－第2フェーズ」と題する最終規則文書における開示様式に記載された項目番号です。